

新元号「令和」で話題となった梅。大陸から日本にもたらされて以降、文人たちに親しまれ、数多くの和歌や漢詩に詠まれてきました。彼らの目に、梅はどのように映っていたのでしょうか。本講座では、山部赤人や菅原道真など、特に明石にゆかりのある歌人・詩人たちの作品を取り上げ、彼らが詠んだ梅についてご紹介いたします。「古典」の見方を知ること、春の訪れを楽しむ一助としていただければ幸いです。

明石の文学シリーズ4

明石ゆかりの歌人・詩人たちと梅

2020. 2 / 19 (水)

18:00 ~ 19:00 (17:30 open)

講師：川上 萌実

日本学術振興会特別研究員

場所：地域研究センター明石ハウス（大塩邸）

明石市大蔵八幡町 5-23



予約不要 / 参加費無料

神戸学院大学地域研究センター

☎ 651-2180

神戸市西区伊川谷町有瀬 518

☎ 078-974-4232 (火・水・金)

E-mail: frb@human.kobegakuin.ac.jp

■バス：JR明石駅より神姫バス「黒橋」下車、徒歩9分

■電車：山陽電車「大蔵谷駅」下車、徒歩5分

JR「明石駅」下車、徒歩15分
(南口より国道2号線を東へ)

■車：大蔵海岸西駐車場をご利用ください。

(1時間以内100円 以降1時間ごと100円)

国道2号線の黒橋東交差点を南に曲がり、80メートルほど進んだ右側にもコインパーキングがあります。

(1時間200円 最大料金400円)

